

胃内視鏡検査とは

のどまたは鼻から細い管(スコープ)を入れ、食道、胃、十二指腸を診る検査です。
この検査で病気を見つけたり、病気の程度を知ることができます。
痛みはほとんどありませんので、楽な気持ちで検査を受けて下さい。

検査の前日は 正しい診断ができるように、次のことを必ず守って下さい。



- ・夕食は消化の良い物で午後9時頃までに済ませ、それ以後は何も食べないで下さい。
- ・適度な水分摂取(水又はお茶)はかまいません。眠前の薬は通常通り服用して下さい。

検査当日の朝は

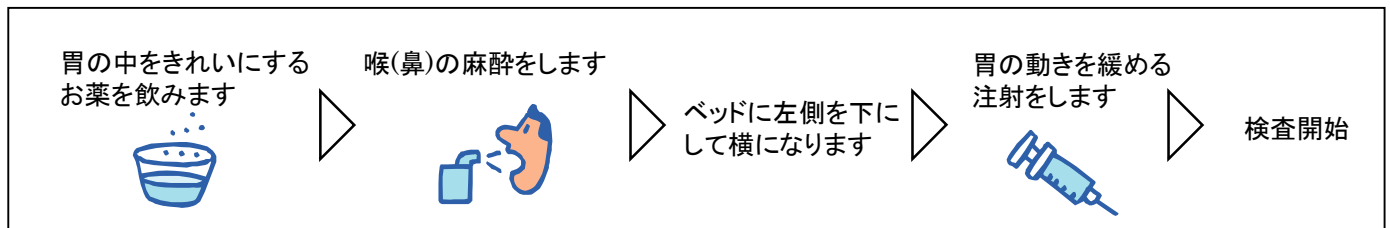


- ・朝食の摂取、喫煙、糖尿病のお薬の内服やインスリン注射はしないで下さい。(水は飲んでもかまいません。)
- ・なるべくゆったりした服装で来院して下さい。
- ・タオルを持参して下さい。
- ・ご自分で自転車、バイク、自動車を運転してくるのはおやめ下さい。(検査終了後は注射の影響が残るため運転できなくなる場合があります。)

検査はこのようにおこなわれます。

1) 検査の前に

- ・入れ歯やメガネをはずして下さい。口紅は落として下さい。
- ・ベルトや腹まき、コルセットなどお腹をしめつけるものははずして下さい。



2) 検査の手順

- ・検査中呼吸は鼻からできますので、目は閉じずに体の力を抜いて楽にしましょう。検査時間は約5～10分です。
- * 必要があれば胃粘膜の組織を採ることがあります(生検)。痛くはありませんが、小さな傷ができますので2～3日は飲酒、刺激物は避けて下さい。

3) 検査が終わったら

- ・喉の麻酔による違和感は1時間ほどでとれてきますので、その間食べたり飲んだり喫煙しないようにして下さい。
- ・検査時に空気を入れて胃を膨らませるので、お腹が張った感じや鈍い痛みがあるかもしれませんが、検査終了後ガスがでて自然に治ります。
- ・検査時、食道や胃の中をみやすくするために色素をいれることがあります。この場合、あとで尿や便に色がついたり、胸やけが残ることがありますが心配いりません

* 痛みが続いたり、黒色便が出るなどの異常があれば、下記までご連絡下さい。